

3. 施設の老朽化状況

前歴事業で造成された施設は、全体的な老朽化が進んでおり、度々故障等が発生し施設本来の能力を発揮できないなどの状況が生じています。また、施設の維持管理に多大な費用と労力を要しています。



【浪岡ダム取水設備】
(鋼材の腐食・発錆)



【浪岡ダム放流設備】
(放水管の漏水)



【夕顔関頭首工】
(コンクリートのひび割れ)



【松島頭首工】
(油圧装置の油漏れ)



【銀幹線用水路】
(腹起し切梁の腐食・発錆)



【松島導水路】
(腐食による漏水)

4. 令和3年度の実施予定

令和2年度に引き続き国営施設応急対策事業の原因究明等調査を実施し、事業化に向けた調査・検討を行っていく予定です。

業務紹介

～調査地区の紹介 「^{いわきがわ さがん}岩木川左岸地区」～

本地区は、令和元年度より国営施設応急対策事業「岩木川左岸地区」の調査に着手し、事業計画策定に向けた各種調査を令和2年度も引き続き実施します。ここでは、その概要について紹介します。

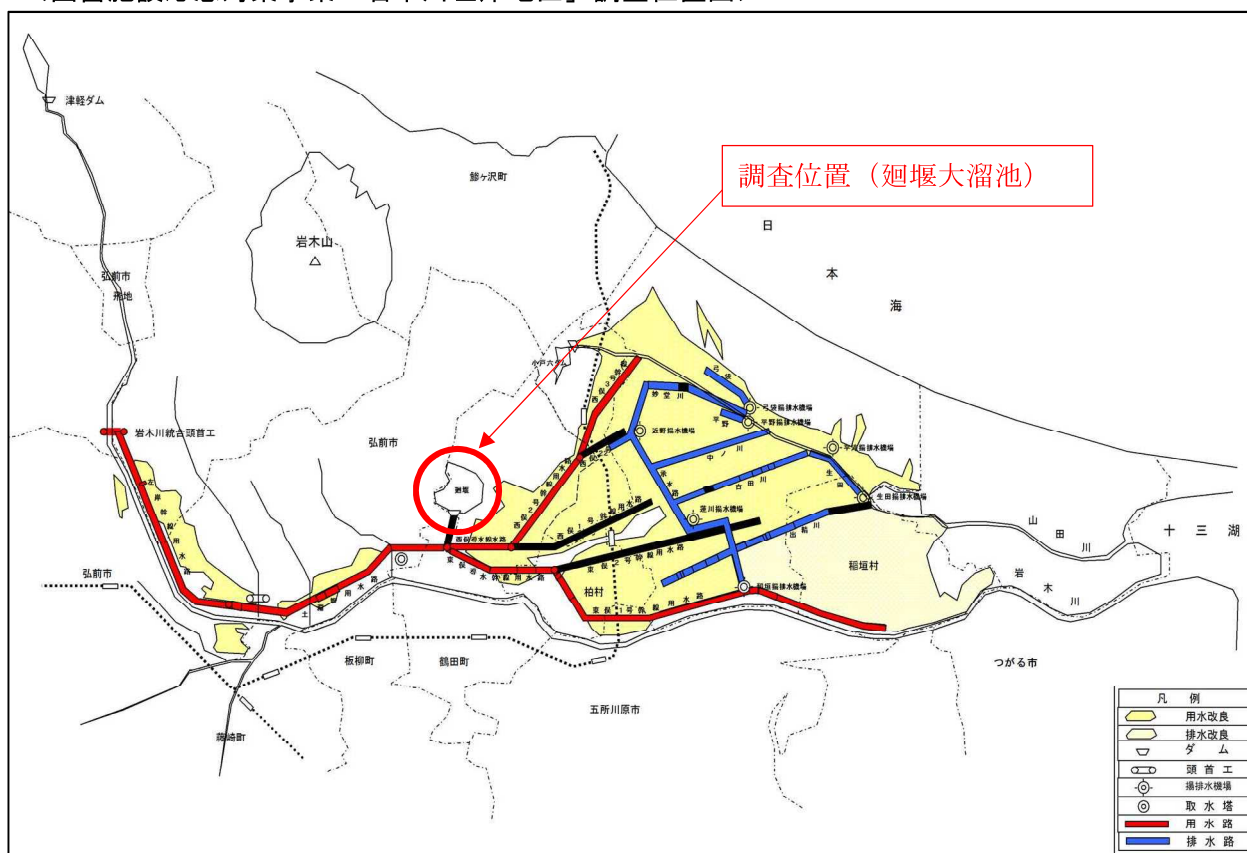
1. 地区概要

本地区は、青森県西部津軽平野のやや中央部に位置し、つがる市、鶴田町にまたがる農業地帯です。本地区の営農は水稻を中心とし、水田畑利用による大豆の生産のほか、りんごや野菜を組み合わせた営農が展開されています。

本地区の基幹的農業水利施設である廻堰大溜池は、1660年代に津軽藩4代藩主津軽信政公の命により、新田開発・用水補給のため、堤防を築き造られたものです。その後、幾度かの決壊・補修を重ね、国営西津軽、西津軽第二農業水利事業（昭和18年度～昭和55年度）の補給水とするため、同事業により、ため池堤防を約4m嵩上げし、昭和35年に現在の堤防が完成しました。

さらにその後、国営岩木川左岸土地改良事業（平成8年度～平成25年度）により、施設の一部が整備されてきました。

<国営施設応急対策事業「岩木川左岸地区」調査位置図>



2. 事業の概要

本地区の基幹的な農業水利施設である「廻堰大溜池」は、堤頂長が約4.2kmあり、日本一堤頂長の長いため池です。

廻堰大溜池の直下流には民家が建ち並ぶほか、近隣には小学校や老人ホーム等があります。

東日本大震災を契機として、廻堰大溜池の耐震性能照査（レベル1）を実施したところ、堤体の安全性を確保出来ないことが判明しました。

このため、不測の事態が発生した場合のリスク等を把握するための原因究明等調査として、廻堰大溜池の詳細な耐震性の点検・調査を行い、耐震対策の検討を行うものです。



赤枠内：近接集落、黄色線：堤体範囲



堤体内側



堤体外側

3. 調査の実施状況

本調査は、3カ年（令和元年度～令和3年度）で、下表＜調査計画表＞のとおり、廻堰大溜池の耐震性能照査を実施する計画としております。

耐震性能照査断面の選定に当たっては、堤体直下流の土地利用状況を考慮し、廻堰大溜池の代表断面となる3断面を選定し、調査を実施しております。

＜年度別調査計画表＞

年 度	調査計画（予定）
令和元年度	・地質調査 N= 1 断面 ・耐震性能照査 N= 1 断面
令和2年度	・地質調査 N= 2 断面 ・耐震対策工検討 N= 1 断面
令和3年度	・耐震対策工検討 N= 2 断面 ・概算事業費算出 N= 1 断面

令和2年度は、令和元年度の調査結果を基に、地質調査2断面及び耐震対策工検討1断面を実施しております。対策工法の概定に当たっては、複数の対策工法を検討し、地震に対して所要の安全率を確保できる対策を選定します。